

# 絵図集成 近世子どもの世界

[全10巻] 挿本体 194,174円

B5判・上製・平均450頁

第1回配本 5巻 (絵図編第1~4巻 / 翻刻編第1巻) 挿本体 97,087円 ISBN4-87236-930-0 【注文No.7】

第2回配本 5巻 (絵図編第5~8巻 / 翻刻編第2巻) 挿本体 97,087円 ISBN4-87236-931-9 【注文No.8】

## 江戸の日常生活を伝える多彩な絵図の世界

生活・社会空間の中の子どもの姿

子どもを通して見た世界 ...

子どもが「居る・生活する」場面を  
徹底蒐集 6,300点  
しかも絵図に添えられた説明を  
〈現代表記〉で読める！

江戸文化を誰でも  
身近に感じて楽しめる  
ビジュアル大資料

江戸時代の日常、教養・文化・風俗模様から  
これからの子どもをめぐる  
「新しい」生活文化を考えるために  
活用できる貴重文献

### 〈収録内容と資料的価値〉

- 1) 近世の子どもたちが読んだ、手習い手本・絵本等 275点  
330冊(ほとんどが初公開)から合計6,300点の絵図を厳選、  
テーマ別に分類し、関連記事も活字化した画期的集成史料。
- 2) 絵図に関する説明書きの全てを翻刻(現代表記で活字化)  
したので、古文献に慣れない人でも手軽に読める(版本の文  
字解説の習熟にも役立つ)。
- 3) 収録される子どもに関する絵図には、近世庶民文化の総体  
が描かれており、江戸文化を理解するうえで貴重な情報が溢  
れている。近世をより深く、正しく理解するために、入門者  
から専門家まで広く活用できる。

### 全巻構成

#### 【第1回配本】

- 絵図編 ①子ども・手習い(子ども/教訓/手習い・学問/文字・文房具/天神様)  
②諸礼・芸能(諸礼/諸飾り/手紙/婚礼/芸能)  
③家庭・生活(家族/家事/食生活・養生/家財/諸道具・衣類/家屋敷)  
④職業(四民/公家/武家/農民/職人/商人/僧侶/遊女ほか)

- 翻刻編 ①(絵図編①~④の翻刻)

#### 【第2回配本】

- 絵図編 ⑤社会・信仰(社会/風俗/遊興/信仰/占い/干支/四季/年中行事/五節句)  
⑥名所・旅行(日本全国/東日本/西日本/旅行/交通)  
⑦生物・中国風俗(動物/魚類/虫/植物/自然/模様ほか/中国風俗/二十四孝)  
⑧人物略伝(中国人/日本人/異国人ほか)

- 翻刻編 ②(絵図編⑤~⑧の翻刻)

近世の教育史・文化史・風俗史研究の基本文献

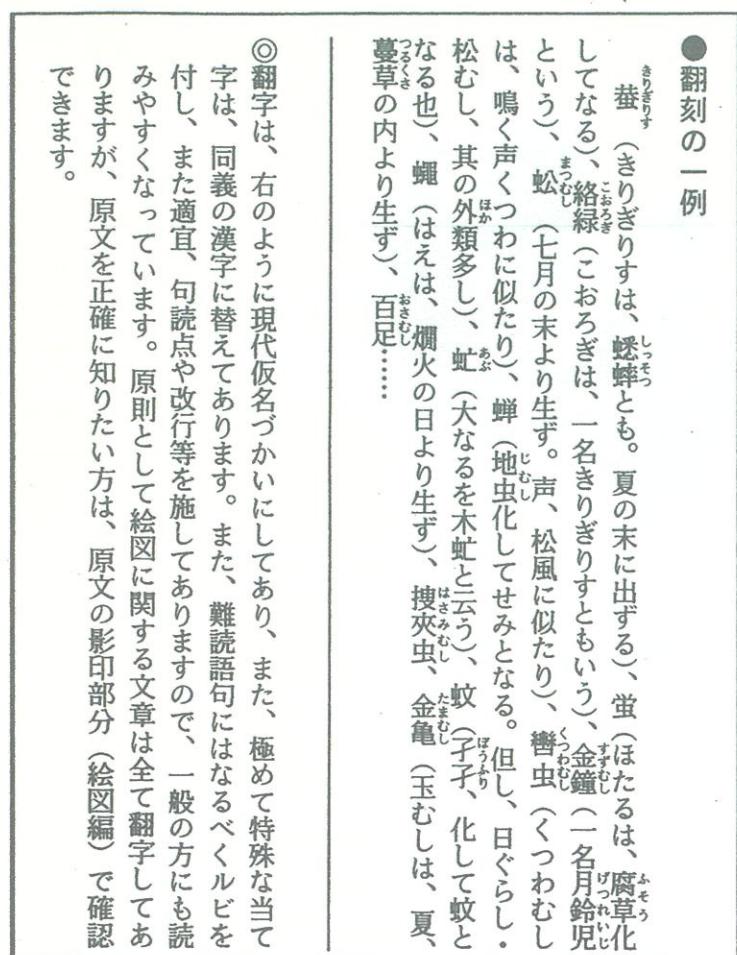
調べる・答える・使える

☆古文書解説がブーム こういう面白い題材から入るのが一番

見れば見るほど多くの情報に満ちた「絵図」の世界



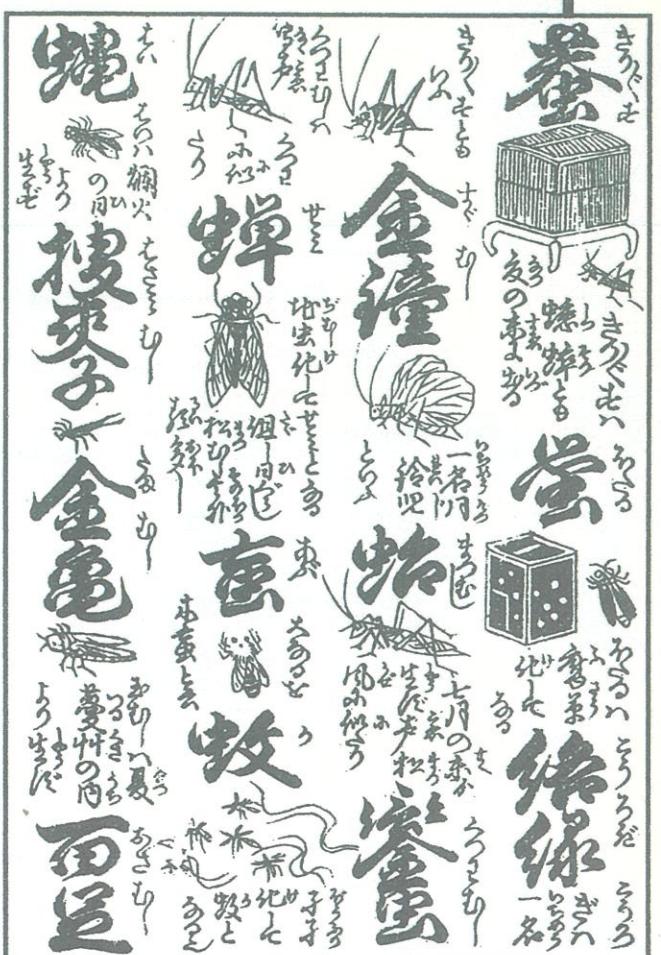
■『商売往来絵字引二編』より  
(右は絵図編第7巻、左は翻刻編第2巻)



## 翻刻編2卷構成

◎翻字は、右のよう<sup>に</sup>に現代仮名づかいにしてあり、また、極めて特殊な当て字は、同義の漢字に替えてあります。また、難読語句にはなるべくルビを付し、また適宜、句読点や改行等を施してありますので、一般の方にも読みやすくなっています。原則として絵図に関する文章は全て翻字していますが、原文を正確に知りたい方は、原文の影印部分（絵図編）で確認できます。

蚕（きりぎりすは、蠶蟬とも。夏の末に出ずる）、蛍（ほたるは、腐草化してなる）、絡緑（こおろぎは、一名きりぎりすともいう）、金鐘（一名月鈴兒ふつわらわい）、松むし（七月の末より生ず。声、松風に似たり）、轡虫（じむし）（地虫化してせみとなる。但し、日ぐらし・松むし、其の外類多し）、虻（あぶななるを木虻と云う）、蚊（ましこ子子化して蚊となる也）、蠅（はえは、燐火の日より生ず）、搜夾虫（さがみむし）、金龜（かなまめし）（玉むしは、夏、蔓草の内より生ず）、百足……



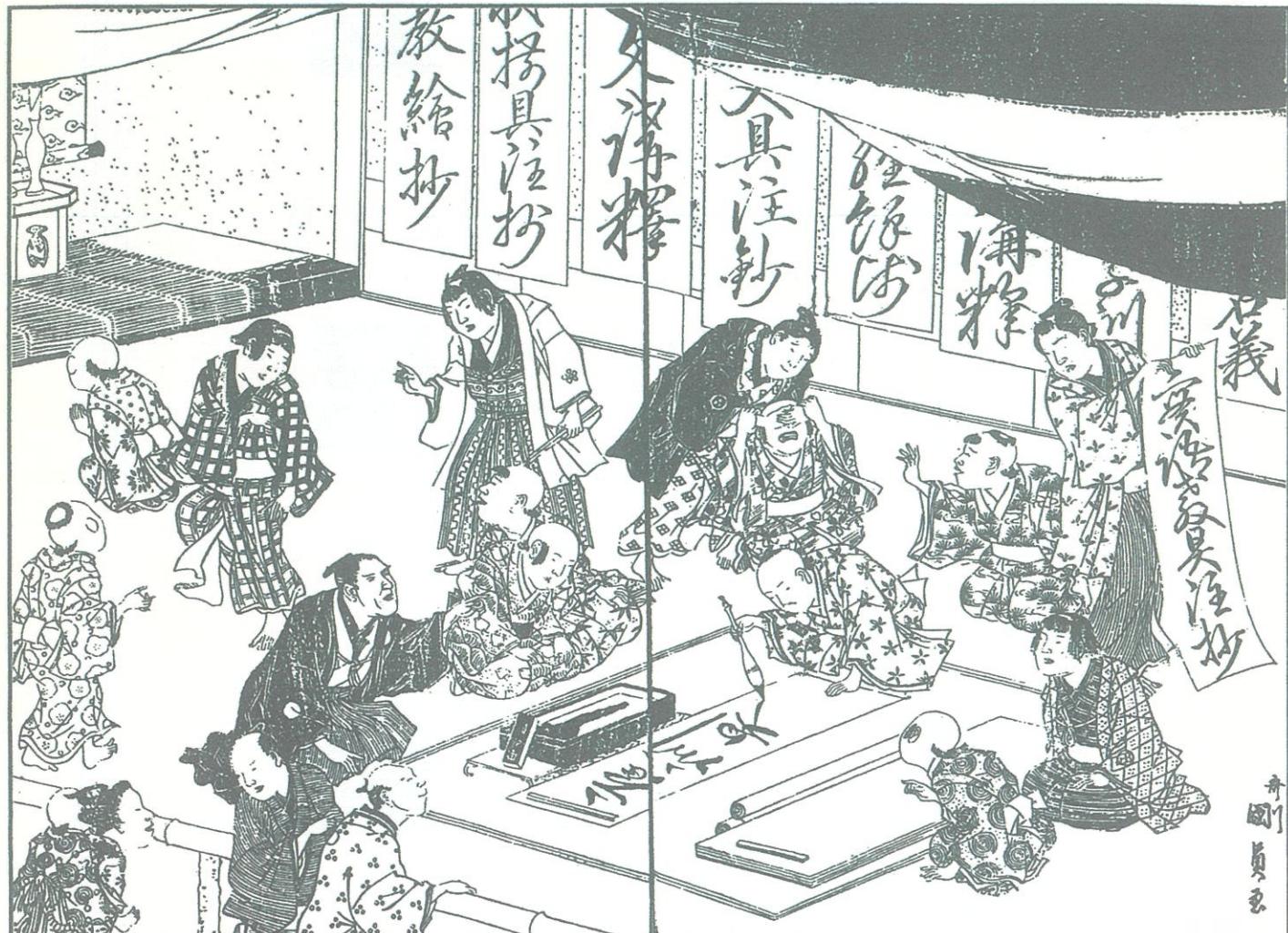
詞書（絵図に付けられた様々な説明）も現代仮名づかいで気軽に読める。絵と平易な文章で、江戸庶民文化が体感できる。

◆序本に使用した資料の大半が今回初の翻刻です。中には、「親族和合往来」「兒女長成往来」「婚礼往来」「商売往来絵字引一編」「道具字引図解」「宗門往来」など全文を翻刻したものもあります。

◆絵図・文章ともできるだけ多く収録するため、絵図編・翻刻編を別々にしました。第一回・二回配本とも、それぞれ絵図編四巻+翻刻編一巻の構成です。

◆絵図の多くには、関連の説明（詞書）や教訓歌（狂歌）などが添えられていますが、このような関連記事を全て翻刻。絵図の持つ意味をより深く理解できます。現代仮名づかいで翻字していますので、一般の方でも楽しく、気軽に読めるように編集されています。また、これらの記事は、もともと近世の子ども向けにわかりやすく綴られたもので、当時の子どもたちにどんな内容がどのように説かれていたかを的確に知ることができます。俗説や迷信に満ちた事柄も少なくありませんが、その内容は種々雑多で、近世の庶民文化の概要を知るには最適です。

■寺子屋の席書き風景。「席書き」は、日頃の手習いの成果を発表する機会で、今日の学芸会にあたる。師匠の前で正装した寺子が一人ずつ、師匠から言われた語句（ここでは往来物の名が書かれ、書籍広告になっている）をその場で書き、壁に貼り出す。近所の者も參觀し批評した。（第1巻より）



成構巻8編図絵

第一卷 「諸礼・芸能」 → 礼儀作法・書簡作法や婚礼・芸能全般について。男子用往来物に少ない婚礼の記事は、「婚礼往来」の全文を掲げました。

第三卷 「家庭・生活」 → 子育て・衣食住など家庭生活について。

第四卷 「職業」 → 士農工商を始め種々の職業について。

第五卷 「社会・信仰」 → 社会・風俗・遊興・信仰や、暦占・四季・年中行事等について。

第六卷 「名所・旅行」 → 全国各地の名所・旧跡・寺社や、旅行・交通について。

第七卷 「生物・中国風俗」 → 生物全般や中国風俗、また、記事が極めて多い「二  
十四孝」を中国人略伝から独立させて掲げました。

第八卷 「人物略伝」 → 和漢の人物略伝や異国人について。

以上は主要項目ですが、まさに江戸文化の総体がここに凝縮され  
ていると言えます。

◆近世の子どもが読んだ、手習い手本（原則として男子用往来物）・石門心学書（石田梅岩を教祖とし、江戸時代中期に飛躍的に展開した社会運動を石門心学といい、子ども向け教訓書が多く作られた）。絵本類二七五点三三〇冊から、実際に合計六、三〇〇点もの絵図を収集しました。底本選定にあたり参考した文献は約一、〇〇〇点にのぼります。また、底本に掲載された絵図の大半を収録していますので、本書を見渡すだけで、三〇〇冊以上の文献の絵図を一通り見たことになります。一般の方でも手軽に、富な絵図を通して近世子どもの教養世界の全貌を総覧できます。もちろん、この種の集成史料は弊社独自のものです。

◆絵図の分類項目は、絵図の頻度に合わせて設定し、次のように各巻を構成してあります。

第一巻「子ども・手習い」→子どもの日常生活、子ども向け教訓の数々、また、

六、三〇〇点の絵図が語りかけるもの。それは、成熟した江戸庶民文化の結晶。そこに、かけがえのない日本の文化が開花している。

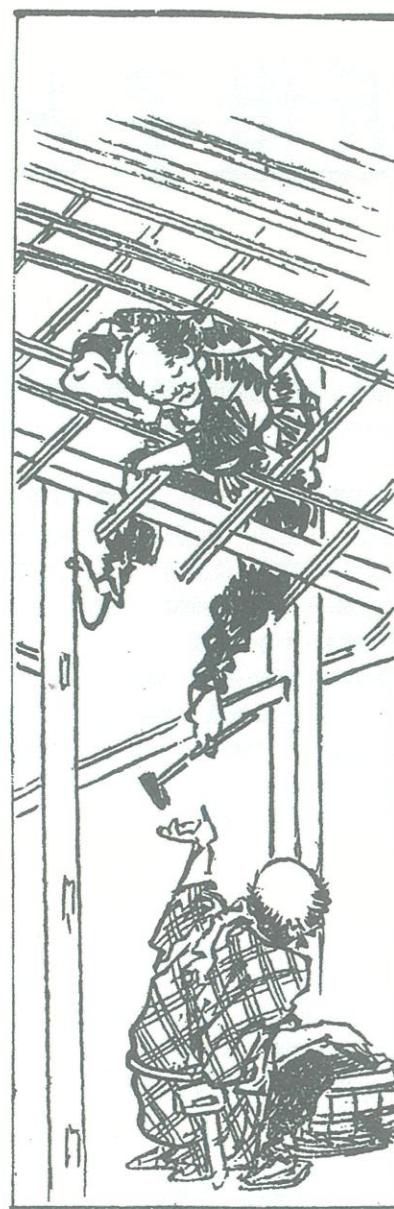
## ◆組見本◆

\*原寸(絵図編第四巻より)



【出典】①明治2(1869)『百姓往来』②文久2(1862)『習性遺言』

- 各絵図ごとに出典(刊行年代・書名)を明記。絵図は右上から①、②、③……とし、各頁の下に表示しております。
- 図中の言葉(教訓歌)は、翻刻編に次のように掲載しております。  
〔翻刻編 第一巻 三〇三頁〕
- 好き器用稽古の三つを例見るに 好きこそ物の上手とはなる  
国に惚れ父母にほれ業にほれ つまりにほれて出世立身  
たなつもの恵みやしなう川水は セキとめられて井出つたうなり」



■町人家庭の節分豆まき風景。「鬼は外、福は内」という声も聞こえてきそうな、ほのぼのとした家庭の一コマである。火鉢・たばこ盆・行燈など、家財・諸道具も細かく描かれている。



■左は、薬種商の家族が壁に「風ぐすり」の広告を貼っているところ。目も衰えてきた老人が逆さまに貼ったのを、子どもが注意している場面である。(第3巻より)

■下は、吉祥振る舞い台所の図。特別なお祝いのために、料理の用意に余念なく働く厨房の人々。献立を手にした主らしき男が入念に段取りを確認しているのが見える。(第3巻より)

◆ここに掲げたのは、第三巻「家庭・生活」中の絵図です。これらの絵図からも分かるように、一枚の絵図には、人物の髪型や衣服、衣装の紋様、動作、また、背景になつていてる住居の様子、家具・調度品。小物にいたるまで、非常に多くの情報が溢れています。描かれた時代は? 季節は? 身分は? — 注意深く見れば見るほど様々な発見があります。

一枚の絵図に盛り込まれた多くの情報。江戸の日常生活を伝える多彩な絵図は、見れば見るほど興味尽きない。

